平成28年１月22日

第３次大阪府子ども読書活動推進計画（素案）の概要

基本方針及び具体的な方策

第３次大阪府子ども読書活動推進計画とは

**「子どもの読書活動の推進に関する法律」（H13）に基づき、概ね５年間（H28-32年度）にわたる施策の基本的方針、推進のための指標と具体的な方策を明らかにするもの。**



第２次計画の主な成果と課題

※図表番号は計画（素案）本文中のもの。

**１　大阪府の「読書が好き」な子どもの割合はこの５年間で大きく伸び、全国平均より低い水準ながら、その差は縮まる傾向にある。しかし、中学生、高校生と年齢があがるに従って読書離れが進んでおり（図表9、11参照）、特に中高生に対する読書活動推進の取り組みが必要である。**



**２　子どもの読書活動について保護者に働きかけを行う幼稚園・保育所等や、読書活動ボランティアと連携して読み聞かせを行う小学校は増えた（図表14、16参照）ものの、乳幼児期や小学校低学年の頃に読み聞かせをしてもらっていない子どもが相当数いる（就学前：15％、小学校低学年：50％）ことから、多様な場で子どもへの読み聞かせを行う機会を拡大することが必要である。**

**３　子ども読書活動推進計画を策定している府内市町村は５年前に比べ３市増えて34市町になったものの、９市町村が未策定である（図表８参照）。未策定や計画期間が終了した市町村においては、計画の策定・改訂を進め、府・市町村それぞれが計画的に子ども読書活動を進めていくことが必要である。**

　【子どもの読書活動の大切さ】

・感性を磨き、「豊かな心」を育む

・言葉を学び、知識を獲得し、思考を深化し、創造する力や表現力を磨き、更なる知的探究心を
育む

・必要な情報を主体的に収集・判断・表現・処理・創造し、受け手の状況などを踏まえて発信・
伝達できる情報活用能力を身に付ける

・生涯を通じて自発的に学び続けようとする習慣を身に付ける

・読書好きであるかどうかは学力の様々な部分と強い関連

子どもの読書活動推進の意義

**子どもの読書活動は、子どもが人生を豊かに、より深く、主体的に生きる力を身につけて**

**いくうえで欠くことができないものである。**

2－2

※　取組みの指標の数値は裏面参照

取組みの指標

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 指標 | 現状（平成26年度） | 目標値（平成32年度） | データの出典 |
| ① 保護者に対して絵本の読み聞かせの講座、おすすめ絵本の紹介、おすすめ絵本のリストの作成・配布などの取組みをしている教育・保育施設の割合 | 公立幼稚園　　　95％公立保育園　　　96％ | 100％100％ | 子どもの読書活動推進の取組み調査（府・毎年） |
| ②　中高生向けに子ども読書活動の支援※を行っている公立図書館の割合（※中高生向けの専用コーナーの設置・お勧め本リストの作成、ビブリオバトルの実施など。ただし、職業体験の入れは除く。） | 68％ | 85％ | 子どもの読書活動推進の取組み調査（府・毎年） |
| ③　府が実施する読み聞かせの重要性や手法に関する研修や講座の実施回数　　　　　　　　　　　　　　 | ３回 | 10回 | 実績による（目標値は５年間の年平均回数） |
| ④　月に数回以上全校一斉の読書活動を実施している公立小学校・公立中学校の割合 | 公立小学校　　　91％公立中学校　　　61％ | 100％　80％ | 学校図書館の現状に関する調べ（文部科学省・隔年） |
| ⑤　全校一斉の読書活動以外の取組みを実施している公立学校の割合　 | 公立小学校　　　97％公立中学校　　　64％公立高等学校　　50％特別支援学校　 68％ | 100％80％60％75％ | 学校図書館の現状に関する調べ（文部科学省・隔年） |
| ⑥　国語の授業で学校図書館を活用している公立学校の割合 | 公立小学校　　　99％公立中学校　　　82％公立高等学校　　47％特別支援学校　　59％ | 100％100％60％75％ | 学校図書館の現状に関する調べ（文部科学省・隔年） |
| ⑦　総合的な学習の授業で学校図書館を活用している公立学校の割合 | 公立小学校　　　97％公立中学校　　　76％公立高等学校　　28％特別支援学校　　49％ | 100％90％35％75％ | 学校図書館の現状に関する調べ（文部科学省・隔年） |
| ⑧　府内市町村子ども読書活動推進計画の策定率（期限切れを含まない） 　　　　　　　　　　　　　 | 市　　　　　　　64％ 町村　　　　　　20％ | 100％70％ | 「子ども読書活動推進計画」策定状況調査（文部科学省・毎年） |
| ⑨　府が実施する子どもの読書活動推進に関わる人を対象とする講座等の開催回数　　 　　　　 | 　　　　　　　28回 | 35回 | 実績による（目標値は５年間の年平均回数） |

2－3

※目標値の空欄は調整中